

NEWS & TOPICS

グループ各社の注目ニュースをお届けします

2023年
7月-10月

CLOSE UP 1

企業情報

9月15日から10月8日

セブン&アイグループ共通の会員基盤「7iD」、
会員数が3000万人を突破

2018年に開始した「7iD」は、セブン&アイグループ各社や提供企業で共通して利用できる会員IDです。登録するとグループの店舗および通販などの買物で貯まるマイルと特典の交換や、会員限定のクーポン配信などさまざまなサービスを受けることができ、会員様から好評を得ております。会員数は年間数百万人のペースで拡大し、サービス開始から5年を経過した2023年7月に3000万人を突破しました。

これを記念しセブン&アイ・ホールディングスでは、9月15日〜10月8日までの期間中に、さまざまなキャンペーンを実施しました。クイズに正解した会員の中から抽選でマイルをプレゼントしたり、指定店舗での買物・食事の回数に応じたマイル付与、さらにはマイルを電子マネーnanacoまたはnanacoポイントに交換することも可能で、3000万ポイントを山分けするなど、会員限定の特典でキャンペーンを盛り上げました。

今後もキャンペーンやサービス拡充に取り組み、「7iD」を通じてお客様の満足度向上を図り、2026年2月末には会員数5000万人を目指します。



CLOSE UP 2

社会・環境活動

9月22日

さらなる気候変動リスク・機会の対策へ
TCFDの提言に沿ったスーパーストア事業の
気候変動対応を開示

セブン&アイ・ホールディングスは、気候変動がおよぼすリスクや機会の分析・開示などを求める「気候関連財務情報開示タスクフォース（以下、TCFD）」の提言に沿った活動を、スーパーストア（以下、SST）事業に拡大し、開示しました。世界的に気候変動の問題が深刻化する中、セブン&アイグループは地域社会と持続可能な成長のために環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」を掲げ、2019年より気候変動戦略の立案や関連情報の開示などを継続しています。2022年度から、イトーヨーカ堂とヨーク（2023年9月1日、イトーヨーカ堂と合併）、ヨークベニマルの3社はTCFDに基づいた分析を実施。各種国際機関が発行している気候変動に関するシナリオを活用して、気温上昇や自然災害、政策導入など2030年における気候変動の影響を分析した結果、将来、気候変動が私たちの事業に大きなリスクや機会をおよぼす可能性が高いことがわかりました。これらのリスクや機会に対して、SST事業の適応力と対応力を示すために、事業戦略の視点で既に実施している取り組みの再確認や新たな対応策の立案を進めた結果、店舗の形態や調達原材料の幅などグループ全体で気候変動への適応力と対応力がさらに向上しました。

今後も世の中の変化に柔軟に対応し、気候変動リスク・機会の対応策を進め、企業価値の向上に努めます。



※TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言とは主要国の中央銀行などが参加する国際機関である金融安定理事会(FSB)によって設立されたタスクフォース。2017年6月、企業が任意で行う気候関連のリスクと機会に関する情報開示のあり方について提言を公表。企業はTCFD提言の枠組みに沿って分析を実施し、気候変動に対しての対応力を示す。

社会・環境活動

7月11日

イトーヨーカドー全店などで
「こどもの未来応援基金」
募金活動を実施

イトーヨーカ堂とセブン&アイ・フードシステムズは、こども家庭庁や文部科学省などで構成される「こどもの未来応援国民運動」に賛同し、「こどもの未来応援基金」への募金活動を実施しました。全国の店舗に寄せられた募金総額は508万3057円となり、小倉将信内閣府特命担当大臣宛にお届けしました。



受賞

7月26日

イトーヨーカ堂が
「昭和天皇記念献血推進賞」受賞

イトーヨーカ堂は、第59回献血運動推進全国大会において「昭和天皇記念献血推進賞」を受賞し、表彰を受けました。イトーヨーカ堂では昭和44年から54年間にわたり、献血会場の提供などに協力し、直近5年には400ml献血を中心に、年間平均1万6317人の方々からご協力をいただきました。



企業情報

8月2日

セブンプレミアムでつくる
時短幼児食レシピを公開

赤ちゃん本舗は、全国のセブンイレブン店舗で購入できるセブンプレミアムの商品でつくる幼児食アレンジレシピをアカチャホン公式ホームページ内の食にまつわる情報を集めたコンテンツ「U・a・fain」で公開しました。管理栄養士が監修した時短レシピを通じて、赤ちゃんのいる暮らしに寄り添い子育て世帯をサポートします。



セブンプレミアム商品をアレンジ

社会・環境活動

8月5日

循環型プラットフォーム
「BIOLOGIC LOOP」
繊維回収拠点を関西エリアへ拡大

「できることから。環境を考えるきっかけに。」を合言葉に、リサイクルプログラムを実施するロフトでは、2022年4月より銀座を皮切りに、23年5月より首都圏の6店舗にて使用済み繊維を回収・循環させる「BIOLOGIC LOOP」に取り組んできました。この拠点を23年8月より関西エリア（梅田、京都）にも拡大し、使用済み繊維製品を新たな資源に再生する取り組みを推進します。

企業情報

8月31日

セブン銀行が
「HDI格付けベンチマーク」で
最高ランクの三つ星を獲得

セブン銀行コンタクトセンターは、HDI・Japan主催の「HDI格付けベンチマーク（銀行業界）」における「Webサポート格付け」で最高ランクの三つ星を2年連続で、また、「問い合わせ窓口格付け」で二つ星を獲得しました。お客様の困りごとをスムーズに解決できるよう、DXの推進とリアルコミュニケーションの対応品質の向上に日々取り組んでいます。

セブン&アイHLDGS.

7iDサービス窓口が
「HDI格付けベンチマーク」で
三つ星を受賞

セブン&アイ・ホールディングスが運営する7iDアカウントサービス窓口は、HDI・Japan主催の「HDI格付けベンチマーク」の「問い合わせ窓口格付け」で、最高ランクの三つ星を獲得しました。7iD会員様からのお問い合わせ窓口として、会員様に寄り添った対応や適切な解決策の提示などが高く評価されました。



企業情報

9月5日

商品お届けサービスが
さらに気軽に、便利に
「7NOWアプリ」登場

セブンイレブン・ジャパンは、商品お届けサービス「7NOW」の利便性向上を目指し「7NOWアプリ」を開始しました。「7NOW」は食品から日用品まで、約2800アイテムを最短30分でお届けするサービスです。商品の品揃えや在庫をセブンイレブン店舗と連動できる仕組みを活用し、「実際の売場」を見て商品を選んでいただくようなお買物体験ができます。また、お客様一人ひとりの購入履歴・し好に合わせたレコメンド機能やクーポン配信、お届け先は最大10カ所まで登録できるなど、充実した機能が特徴。23年度中には1万2000店舗へ拡大し、24年度中には全国へ拡大予定です。

「7NOWアプリ」4つのポイント

1. "実際の売場"を見ているかのようなデザイン
2. "お気に入り"の商品の状況をすぐにチェック
3. お客様一人ひとりに合わせたさまざまな機能
4. ご自宅以外も。お届け先を最大10カ所登録可能

▶「7NOWアプリ」のダウンロードはこちら



App Store



Google Play

9月26日

企業情報

セブン銀行

セブン銀行第4世代ATMで 新サービス「+Connect」を 提供開始

セブン銀行は、新型ATMを活用した新サービス「+Connect（プラスコネクト）」の提供を開始しました。このサービスは本人確認書類やIC、二次元コードなどの読み取り機能、高精度カメラによる顔認証がベースとなっています。第一弾の今回は、口座開設や諸届情報の変更などがATM上で完結する「ATM窓口」と、届出情報の変更有無の確認などが可能な「ATMお知らせ」サービスを提供します。お客様の利便性向上とともに提携事業者様にも顧客接点とDX戦略を支援するサービスプラットフォームとして多彩な機能を搭載したセブン銀行ATMをご活用いただけるようになります。



Connect

9月27日から10月15日

社会・環境活動

赤ちゃん本舗

「赤ちゃんの日」を通じて 赤ちゃんのことを想う社会へ

10月10日の「赤ちゃんの日」は、妊娠期間を表す「トツキトオカ」にちなみ2010年に日本記念日協会に認定された記念日です。赤ちゃん本舗は、社会全体が赤ちゃんに感謝し、赤ちゃんを想う日として「赤ちゃんの日」を広める活動を推進しています。その一環として、9月27日～10月15日の期間に着なくなった子ども服を回収・海外で販売し、世界の子どもたちにポリオワクチンを寄付する「古着deワクチン」の古着回収場所をアカチャンホンポ全店に設置しました。また、9月29日からは全店で「赤ちゃんの日フェア」を開催。恒例の「赤ちゃんの日ハイイレース」には5500組以上が参加し、赤ちゃんの誕生と成長をお祝いしました。



水99%Super
新生児からのおしりふき
赤ちゃんの日
特別パッケージ

トツキ トオカ
10月10日
赤ちゃんの日

「赤ちゃんの日ハイイレース」には5500組以上が参加し、赤ちゃんの誕生と成長をお祝いしました。

新店情報

9月8日(金)

大泉学園ロフト 東京都練馬区東大泉1丁目28番1号 グランエミオ大泉学園2階

9月20日(水)

ヨークフーズ保谷 東京都西東京市東町1丁目11番28号

10月27日(金)

彦根ロフト 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43番1号 ピバシティ彦根1階

9月7日

ラオスにセブン-イレブンが初出店

東南アジア内陸に位置するラオスの首都ヴィエンチャンにセブン-イレブン1号店を出店しました。ヴィエンチャンはラオス中国鉄道の開通とともに、経済成長する注目の都市。セブン-イレブンの代表的な



商品であるコーヒーやスラーピー、ハンバーガーやトーストサンドなど、世界的に人気の高い商品を販売します。将来的には、地元の人々のし好に合わせた食品の提供も目指します。

9月8日

企業情報

セブン銀行

さらなる業績拡大を目指し募集 新株予約権を発行

セブン銀行は、9月8日の取締役会において、セブン銀行とセブン銀行子会社の取締役、監査役および従業員に対し、新株予約権（有償ストック・オプション）の発行を決議しました。今回の新株予約権の発行は、セブン銀行グループの結束力をさらに高め、中長期的な業績拡大および企業価値を増大させることを目的としており、企業価値・株主価値の向上を図るため、セブン銀行グループ社員一丸となって取り組んでまいります。

9月8日

企業情報

セブン&アイHLDGS.

ESGリスクに対する 取り組みで高スコアを獲得

セブン&アイ・ホールディングスは、企業のESG（環境・社会・ガバナンス）リスクマネジメントを評価するFTSE RussellのESGスコアで、これまで当社が獲得した中で最高評価となるESG Score 4.5（5点満点中）を獲得しました。これは本業を通じて社会課題の解決への取り組みを評価されたことと認識しており、今後も「信頼される誠実な企業」を目指して、気候変動などのグローバルな社会課題に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

9月8日から12月6日

社会・環境活動

セブン&アイHLDGS.

循環経済社会の実現に向けて 業界横断12社で取り組む プラスチックの回収実証実験

セブン&アイ・ホールディングスは、フイートーヨーカドー横浜別所店において、使用済みプラスチックの回収実証実験を9月より実施しています。この実験は、使用済みプラスチックの再生を目指し、環境負荷の少ない再資源化技術の開発などに取り組んでいる共同出資会社、株式会社アールプラスジャパンに資本参加するうちの12社による業界横断の取り組みです。今回の実験では、納豆容器や弁当容器などを含む食品用容器を回収し、アールプラスジャパンが開発中のリサイクル技術適用を検討。あらゆるプラスチックをプラスチックに戻すケミカルリサイクル技術への適用を検討します。

新しい回収方法を構築するための実証実験



9月11日

企業情報

セブン-イレブン・ジャパン

マウイ島山火被害への 募金を支援団体へ寄託

セブン-イレブン・ジャパンは、8月に発生した米国ハワイ州マウイ島の山火被害への募金を、全国のセブン-イレブン店頭にて実施しました。募金期間中に寄せられた総額は4514万206円となり、ハワイ「コミュニティ財団「マウイストロングフアンド」へ寄託しました。

お客様からの募金とともに、SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC. からアメリカ赤十字社へ企業寄付を行い、マウイ島の避難所へ栄養補助スナック約3000個などの食糧支援物資をお届けしました。

また、7-Eleven International LLCからハワイコミュニティ財団へ、7-Eleven, Inc. からアメリカ赤十字社へ、それぞれ企業寄付を行いました。

- セブン-イレブン店頭募金
募金総額：4,514万206円
- SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC. からの企業支援
 - ①店頭募金：約10,388米ドル
 - ②企業寄付：20,000米ドル
 - ③スパムムスピ：約3,300個、そうめんサラダ：約1,200個、グラノーラバー：約3,000個
- 7-Eleven, Inc. からの企業支援
 - ①企業寄付：25,000米ドル
 - ②従業員寄付：7,250米ドル
- 7-Eleven International LLC からの企業支援
企業寄付：25,000米ドル

9月19日

企業情報

セブン-イレブン・ジャパン

健康ニーズに対応した 国内初・機能性表示食品の おにぎりなど3商品を発売

健康と食への関心が広がる中、セブン-イレブン・ジャパンは、おにぎりやチルド弁当の計3品を、健康の維持・増進に役立つ効果が期待できる「機能性表示食品」として、一部エリアを除く全国のセブン-イレブン店舗にて発売を開始しました。おにぎりは、人気商品「もち麦もちり！おむすび」シリーズのもち麦に含まれる食物繊維の一種「βグルカン」の含有量を1.4倍に増やし、チルド弁当の「混ぜて食べる温玉ビビンバ」についてはもち麦入りご飯に変更しました。βグルカンは、食後血糖値の上昇をおだやかにすることが報告されています。



機能性表示食品

セブン&アイHLDGS.

『IR Day 2023』を開催



▲『IR Day 2023』の資料
および動画はこちらから

10月31日、投資家・アナリストの皆様を対象とした当社グループ初の「セブン&アイ・ホールディングス『IR Day 2023』」をオンラインにて開催しました。当日はグループ成長のドライバーとなる海外CVS事業戦略、グローバルCVS事業戦略、金融関連事業戦略、国内CVS事業戦略にフォーカスし、経営施策全般を各責任者をご説明する形式で、皆様との質疑応答を交えつつ、より詳細にお伝えさせていただきました。『IR Day 2023』の資料および動画は、セブン&アイ・ホールディングスHPに掲載しております。